

# ふくいのかか

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2022年3月4日 No.134

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

## コロナ禍で困窮している学生へ

# 食料支援を 実施しました

### 協同組合連携事業

2021年度、福井県下における協同組合(農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、生活協同組合、ワーカーズコープ)が連携した事業として、フードドライブを実施しています。

これは、食品ロスの削減と余剰食品の有効活用を図るとともに、食品の提供によりコロナ禍で生活が困窮している家庭などを支援し、SDGsの目標を達成していくことを目的にしたものです。

その一環として、12月14日～16日、福井県内の5つの大学を通じて、コロナ禍で困窮している学生600人に、JA福井県経済連(福井パルライス)、福井県漁連、福井県民生協(ハーツ)より提供された食品(1人に付き、県産お米3kg、レトルトご飯、さば缶詰、カップ麺、レトルト食品を計8点)を、贈呈しました。



▲福井大学での贈呈式

初日14日は福井大学文京キャンパスで贈呈式を行い、福井県生協連合会の松宮会長、JA福井県経済連の坂本理事長、福井県漁連の中川専務が出席し、福井大学の上田学長に食品をお渡ししました。上田学長からは、「ずいぶん豪華な食品で学生にとって大変ありがたい」と感謝の言葉をいただきました。

2日目の15日は福井工業大学で、福井県生協連合会の織田専務とJA中央会の篠崎次長が出席し、学生代表2人に食品の贈呈を行いました。「コロナ禍でアルバイトが減り生活が厳しい中、食品の支援は大変ありがたい」と感謝されていました。



▲福井工業大学での贈呈式

上記2大学の他、福井県立大学、仁愛大学、仁愛女子短期大学にお届けしました。

福井県  
労済生協  
主催

家族で学ぶ

## 「防災・減災講演会」を 開催します

日時 2022年3月12日(土) 9:50~12:50

場所 ユニオンプラザ福井(福井市問屋町1-35)

近年、日本国内では異常気象による多くの自然災害が発生していることから、気象情報を防災につなげるための利活用方法の習得や、ご家族で防災・減災の意識を高め災害に備えていただくために、専門家の講師をお招きし講演いただきます。

※集合とweb方式でのハイブリッド型で開催予定ですが、新型コロナの感染状況によって集合方式を中止し、web方式のみに変更させていただく場合があります。

★近年3月に開催している「防災・減災フェア」は、2022年は10月に開催予定です。

主催：福井県労働者福祉協議会、

こくみん共済coop福井推進本部(福井県労済生協)



▲「防災・減災フェア2021」での講演写真

### 講演内容

#### ■講演1

演題:「家族で学ぶ 防災・減災」

講師:危機管理教育研究所 代表・国崎 信江氏

#### ■講演2

演題:「防災気象情報とその利用」

講師:福井地方気象台 次長・村井 雅浩氏

# 会員生協のボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協(組織または役職員・組合員)が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。

福井県民  
生協

## フードドライブに取り組みました

県民せいきょうでは、誰ひとり取り残さないSDGs理念の実現に向けて、「フードバンク・ドライブ」による生活困窮者や子ども食堂への支援活動を行っています。

昨年12月10日～12日の3日間、ハーツ10店舗、大野・勝山きらめき(福祉施設)でフードドライブに取り組み、全体で4,057点の食品が集まり、事業所のある自治体や社会福祉協議会、子ども食堂、福祉団体など希望される14団体に提供しました。

福井市・大野市・鯖江市・越前市・若狭町の5自治体と広報や収集面で連携を行い、また、福井市木田小学校や越前市武生第2中学校の生徒たちが持参いただくなど取り組みが広がりました。



## 斑鳩中学校、11/1美浜中学校 炭焼き体験開催

10/29(金)、奈良県斑鳩中2年生8名、11/1(月)美浜中1年生21名による、炭焼き体験が行われました。

最初に濱野さんより森の大切さ、炭焼きの歴史、炭ができるまでの過程につき説明があり、その後チェーンソーによる木の切断、コースター作り、木材切断機操作、炭材の窯入れを順番に体験しました。

体験後は濱野さん秘伝の猪の味噌汁を堪能して、身も心も腹一杯で帰ってもらいました。帰り際に「今日の体験に来て良かった。楽しい思い出になります。」との感想を頂き、疲れが吹飛びました。



菅浜生協

福井県民  
生協

## 公園の美化活動でつなぐ、 地区のきずな

コロナの感染拡大が続く中、福井県独自の緊急事態宣言も発令されました。今年も大手を振って集えるような地区のイベントはすべて中止になり、自粛疲れの声も聞こえてくるような状況です。

そのような中ですが、地区内外の方が集う「緑苑公園」の中心部に位置する花壇に季節の花々を植栽し、公園を訪れるみなさんに『癒し』と『元気』を提供したいとの思いで、壮青年会が中心になり、季節の花々の植栽活動を行いました。

活動時には、壮青年会以外にも婦人会の皆さんにお手伝いいただき、毎朝の水やりは、子ども会役員の皆さんにもお手伝いいただきました。また、年間を通じて公園内の草刈り作業など美化活動にも努め、コロナ禍の毎日でしたが、地区のきずなを強くしてきました。



草刈り・清掃作業:2021年5月16日、6月26日、  
8月1日、9月12日  
植栽活動:7月18日  
水やり:7月18日から10月末まで(毎日)



## 年越し生活支援 食料無料配布を実施

福井市・病院ブロックのボランティア組織「たすけっと だん・だん」は第6回食料無料支援プロジェクトを12月28日に県社会福祉センターで実施しました。

組合員ボランティアと実行委員会を持ち内容を検討、チラシを近所に配布。福井市各課、市・県社協、公民館、地域包括支援センターやマスコミに協力をお願いしました。

県民せいきょうハーツ学園のフードドライブと市環境政策課・生活支援課、組合員、職員、遠方の方からも、お米や野菜、各種食品と日用品、カンパ金などたくさんの善意が寄せられました。当日は組合員ボランティアなど25名が参加、足元の悪い中68名が来場。10時開場後、30分足らずでほとんどの品がなくなりました。カップラーメンやレトルト食品など調理せず手軽に食べられる食品と古着は防寒着が人気でした。NHKニュースや福井新聞で紹介されました。参加者の年齢は10～80代と幅広く、無職と年金生活の方がほとんどでした。



福井県  
医療生協

## 収集ボランティアに ご協力ありがとうございました

ボランティア月間で収集された使用済み切手・ベルマーク・外国コインは、福井ボランティアセンターを通じて次の団体に寄贈され、役立てられています。また、書き損じ葉書は福井県内の福祉施設法人へ寄贈しています。

収集物	量
使用済み切手	1,200g
ベルマーク	3,185点
書き損じ葉書	6枚
外国コイン	国:4カ国 コイン枚数:24枚

①NPO法人 誕生日ありがとう運動本部  
<http://tanjyobiariga10.web.fc2.com/>  
活動内容 知的ハンディキャップ問題の社会啓発活動

②公益財団法人 ジョイセフ(家族計画国際協力財)  
<http://www.joicfp.or.jp/>  
活動内容 開発途上国への人口・家族計画・母子健康に関する研究および研究助成・援助活動

③公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)  
<http://www.jocs.or.jp>  
活動内容 アジアやアフリカなどの保険医療が十分でない地域への協力活動

④ユニセフ  
<https://www.unicef.or.jp>  
活動内容 世界の児童の健全育成



会員生協の活動報告 & 予定案内

福井県  
医療生協

県教育博物館の見学と公園で  
グラウンド・ゴルフ体験して交流を深めました

医療生協坂井ブロックの丸岡支部と春江支部では、春江町の福井県教育博物館の見学と江留上公園へ「秋の遠足」を行いました。2支部から27名が参加しました。

教育博物館では、3つに分かれたグループ毎に説明員が付き、詳しいレクチャーがありました。「教科書の歴史」に昭和20年墨塗りの教科書が展示されていたり、昭和30年代の教室がなつかしの学び舎として再現され、昔にタイムスリップした感じがしました。

江留上公園へ移動し組織強化月間の集会を開催。月間成功に向けてのあいさつと「健康チャレンジ」参加の呼びかけがされました。丸岡支部オカリナ班の演奏と春江支部の指導で参加者がグラウンド・ゴルフ体験を行い、交流が深められました。



福井大学  
生協

福井フェア開催!



福井大学生協では大学の期末試験前の1週間、ふくいの食材を使った料理を食べてもらうため、「ふくいフェア」を開催しました。越のルビーのソースをかけたチキンカツ、鶏と九頭竜まいたけのガーリックソテー、大野上庄里芋の芋煮、五月ヶ瀬シアーズケーキなどを販売いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策の一環で、試験前1週間でも遠隔授業が続いてしまいましたので、2月2日～4日の期間にリベンジフェアを行いました。

これから次の新入生を迎えますが、新しく福井に来た若者に、これからも福井の味をお届けできればと思っています。



福井  
県民生協

COOP要冷物流センター・  
COOP宅配福井センターオープン

県民せいきょうグループの物流拠点として「COOP要冷物流センター・COOP宅配福井センター」が、1月14日福井市新保町に開設しました。宅配の冷蔵、冷凍、農産品の仕分けや農産加工の機能と、坂井・奥越・福井エリアのコープの宅配拠点の機能を併せ持つことで効率化を図ります。



また高性能集品システムや映像検索システム、重量物積み上げロボットなど作業負担を減らすシステムを導入しました。さらにCO<sub>2</sub>・フロン類の排出削減につながる省エネ冷媒機器の導入や、自家消費用の太陽光発電を設置し、施設全体の20%の電気使用量をカバーする環境配慮型センターです。屋外には「かまどベンチ」「マンホールトイレ」などを備え、災害時の緊急避難場所としても活用する予定です。

